

平成 28 年度 財政援助団体等監査結果報告書

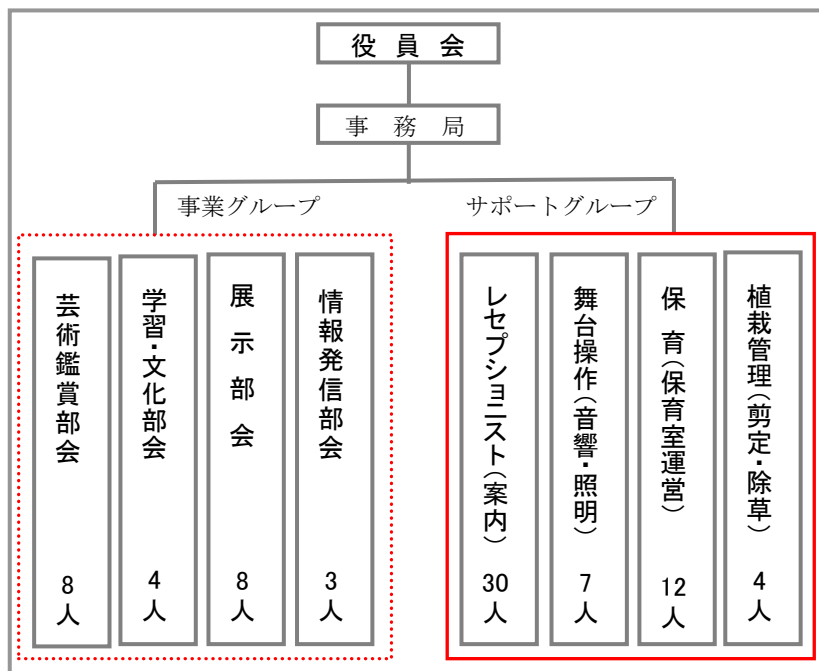
第 1 監査の概要

- 1 監査の種類 地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づく財政援助団体等監査
- 2 監査の対象 団 体 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会
所管課 生涯学習部生涯学習センターゆとろぎ
- 3 監査の範囲 平成 27 年度及び平成 28 年度（4 月～9 月）に交付された助成金に係る
出納並びにその他の事務の執行状況
- 4 監査の期間 平成 28 年 10 月 21 日から平成 29 年 1 月 20 日まで
（説明聴取日 平成 28 年 11 月 17 日）
- 5 監査の主眼 **【所管課】**
 - (1) 財政援助等の事業は、法令、条例、予算等に適合しているか。
 - (2) 助成金等の支出手続は、条例、規則、要綱等に従い行われているか。
 - (3) 団体への指導監督は適切に行われているか。**【財政援助団体等】**
 - (1) 助成事業等は目的、計画、交付条件に沿って適正に執行されているか。
 - (2) 助成金の管理運用、会計処理及び財産の管理は適正に行われているか。
 - (3) 出納関係諸帳簿の整備は適正に行われているか。
- 6 監査の方法 監査にあたっては、「5 監査の主眼」を主な観点として、書類審査、
質問調査等、通常実施すべき監査手続により実施した。

第2 監査の結果

1 団体の概要

- (1) 名 称 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会
- (2) 所 在 地 羽村市緑ヶ丘一丁目 11 番地 5 (羽村市生涯学習センターゆとろぎ内)
- (3) 設 立 平成 18 年 3 月 12 日 (発会式)
- (4) 目 的 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会 (以下「市民の会」という。) は、羽村市生涯学習センターゆとろぎ (以下「ゆとろぎ」という。) が行う市民との協働事業を羽村市教育委員会 (以下「教育委員会」という。) と行うことにより、市民の生涯学習の振興及び普及に寄与することを目的とする。
- (5) 事業内容 市民の会は、上記の目的を達成するため、次に掲げる協働事業の企画運営を行う。
- ① 芸術鑑賞に関する事業
 - ② 文化・生涯学習講座に関する事業
 - ③ 展示に関する事業
 - ④ ゆとろぎにおける市民活動の情報提供に関する事業
 - ⑤ その他目的を達成するために必要な事業
- (6) 組 織 ① 組織図 (平成 28 年 9 月 30 日現在)



② 役員構成（平成 28 年 9 月 30 日現在）

会 長	1 人	副 会 長	2 人	世話人（各グループ代表）	8 人
事務局長	1 人	監 事	2 人		

(7) 市との関係 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金交付要綱に基づき、市民の生涯学習の振興及び普及を図ることを目的として、教育委員会が市民の会と協働で行う事業に要する経費を助成している。

なお、市民の会には自己財源はなく、市からの助成金により運営されている。

2 財政援助の状況

(1) 平成 27 年度及び平成 28 年度上期の助成金の内容及び交付状況

【第 1 表】

名 称	羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金		
根 拠	羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金交付要綱		
交付対象経費	①事業運営のための諸経費 ②事務局事務費 ③事務局人件費等		
交 付 年 度	平成 27 年度分		平成 28 年度上期分
交 付 申 請 日	平成 27 年 4 月 1 日		平成 28 年 4 月 1 日
交 付 決 定 日	平成 27 年 4 月 8 日		平成 28 年 4 月 12 日
交 付 決 定 額	10,386,000 円		10,386,000 円（平成 28 年度分）
交付状況	上 期	5,386,000 円（平成 27 年 4 月 17 日）	5,386,000 円（平成 28 年 4 月 27 日）
	下 期	5,000,000 円（平成 27 年 10 月 8 日）	
補助事業等完了年月日	平成 28 年 3 月 31 日		
実績報告書受付年月日	平成 28 年 4 月 8 日		
補助事業等の収支実績	収入総額	10,386,000 円	
	支出総額	10,303,928 円	
	差 引	82,072 円	
精 算 金 額	82,072 円		

平成 27 年度の助成状況は第 1 表のとおりであり、市民の会から提出された交付申請書に基づき、助成金額 10,386,000 円が交付決定された。

なお、この助成金は上期・下期の 2 回に分けて交付され、決算額は 10,303,928 円となり、交付額との差額 82,072 円が市に返還された。

また、平成 28 年度についても同様な手続きにより助成金 10,386,000 円が交付決定され、平成 28 年 9 月 30 日までに上期分の 5,386,000 円が交付されている。

3 事業実績

(1) 助成金の執行状況

【第2表】

(単位:円)

区 分	平成 27 年度 支出額	平成 28 年度上期 支出額	内 容
事業運営経費	2,513,985	671,473	
芸術鑑賞事業	1,104,754	255,156	主に大・小ホール等で行う芸術鑑賞事業の企画・運営に係る費用
学習文化事業	76,238	43,292	主に講座室・創作室等で行う講座の企画・運営に係る費用
展示事業	846,239	172,118	主に展示室で行う展示事業の企画・運営に係る費用
事業活動費	486,754	200,907	費用弁償、謝礼、保険料、委託料等に係る費用
事務局事務費	1,529,682	521,278	消耗品費、郵便料、手数料、広告費等
事務局人件費	5,546,255	2,390,915	事務局職員賃金 (平成 27 年度・28 年度上期 各 5 人)
サポート組織運営助成費	714,006	282,360	保育謝礼、舞台操作謝礼、植栽管理謝礼
合 計	10,303,928	3,866,026	

(2) 事業の執行状況

平成 27 年度に実施した主な協働事業は、以下のとおりである。

【第3表】芸術鑑賞部会関係事業

事 業 名	実施日	実施会場	来場者数
ゆとろぎ大ホールステージ体験	平成 27 年 4 月 18 日(土)	大ホール	延べ 238 人
第 44 回羽村ゆとろぎ寄席	平成 27 年 6 月 20 日(土)	小ホール	157 人
第 2 回想ひ出の映画鑑「荒野の決闘」	平成 27 年 7 月 4 日(土)	小ホール	113 人
ゆとろぎライブ「残暑ジャズ」	平成 27 年 9 月 11 日(金)	小ホール	230 人
第 45 回羽村ゆとろぎ寄席	平成 27 年 9 月 26 日(土)	小ホール	140 人
子どもフェスティバル	平成 27 年 11 月 7 日(土)・8 日(日)	全 館	延べ 4,035 人
ゆとろぎライブ 「チェンバロの優雅なしらべ」	平成 27 年 11 月 14 日(土)	小ホール	195 人
第 46 回羽村ゆとろぎ寄席	平成 27 年 12 月 5 日(土)	小ホール	122 人
第 3 回想ひ出の映画鑑 「カサブランカ」	平成 27 年 12 月 12 日(土)	小ホール	241 人
ファミリー劇場『影絵劇「宝島」』	平成 27 年 12 月 20 日(日)	大ホール	308 人
HAMURA アニソンライブ	平成 28 年 2 月 28 日(日)	大ホール	401 人
第 47 回羽村ゆとろぎ寄席	平成 28 年 3 月 5 日(土)	小ホール	186 人

【第4表】展示部会関係事業

事業名	実施日	実施会場	来場者数 または参加者数
15thアート in はむら展	平成27年7月1日(水)～19日(日)	全館	2,158人
15thアート in はむら展 「ギャラリートーク」	平成27年7月5日(日)	展示室	77人
15thアート in はむら展 「ワークショップ」	平成27年7月11日(土)	展示室	30人
15thアート in はむら展 「鑑賞教室」	平成27年7月3日(金)・7日(火)・ 8日(水)・9日(木)・14日(火)・ 15日(水)・16日(木)	全館	507人
にしむらあつこ絵本原画展	平成27年9月2日(水)～13日(日)	展示室	1,428人
にしむらあつこ絵本原画展 「絵本よみきかせ」	平成27年9月5日(土)	展示室	68人
ゆとろぎ10周年記念事業 水上清一ボードカービング展	平成27年11月5日(木)～15日(日)	展示室	2,236人
ゆとろぎ10周年記念事業 水上清一ボードカービング展 「ワークショップ」	平成27年11月8日(日)	展示室	33人
ゆとろぎ10周年記念事業 水上清一ボードカービング展 「ギャラリートーク」	平成27年11月15日(日)	展示室	61人
ゆとろぎ10周年記念事業 さなの森のゆかいな動物展 ～カラーペンと色鉛筆で描く～	平成28年2月24日(水)～ 3月6日(日)	展示室	3,096人
ゆとろぎ10周年記念事業 さなの森のゆかいな動物展 ～カラーペンと色鉛筆で描く～ 「こどものぬり絵教室」	平成28年2月27日(土)	展示室	28人
ゆとろぎ10周年記念事業 さなの森のゆかいな動物展 ～カラーペンと色鉛筆で描く～ 「SANAトークショー」	平成28年2月28日(日)	展示室	141人
ゆとろぎ10周年記念事業 さなの森のゆかいな動物展 ～カラーペンと色鉛筆で描く～ 「おとなのぬり絵教室」	平成28年3月5日(土)	展示室	10人
ゆとろぎ美術館 (22・23・24期)	年間開催	全館	

【第5表】学習文化部会関係事業

事業名	実施日	実施会場	参加者数
“新聞貼り絵”入門講座	平成27年5月16・30日(土)、 6月13日(土)	創作室2	16人
『平家物語』の世界を探る ～貴族から武家へ 滅びとはじまりの美学～	平成27年5月19日(火)、 6月2・16・30日(火)	講座室1	47人
講演会 「世界平和をすべての子どもに！」	平成27年5月24日(日)	レセプション ホール	75人
地域の自然素材での造形活動 (シュロ編)	平成27年6月21日(日)	創作室1	6人
夏休み ゲームプログラミング教室2015 ～ゲーム・ロボット制御 プログラミング入門～	平成27年7月20日(祝)、 8月8日(土)・9日(日)	講座室2	14人
夏休み子ども教室 「手づくり木工教室」	平成27年8月4日(火)	創作室1	30人
夏休み子ども教室 「プルプル歩き虫・ アニマルトレイン」	平成27年8月5日(水)	創作室1	21人
杏林大学文化講演会 前期「秋の夜長の睡眠法 ～充実ライフは快眠から～」	平成27年9月5日(土)	レセプション ホール	104人
理科好きになる工作塾	平成27年9月6・13・20・27日(日)、 10月4日(日)	創作室1他	15人
撮るシリーズ 「カメラ機能とレンズを 知って秋を撮る」	平成27年9月19日(土)、 10月13日(土)、11月7・21日(土)	講座室1他	29人
サロン de トーク 「糸絵・布絵への招待」	平成27年9月27日(日)	展示室	47人
文学歴史散歩 「紀行文に見る青梅街道を歩く」	平成27年9月27日(日)	講座室2、 多摩川沿い (二俣尾駅～ 沢井駅)	19人
テクノロジー講座 「身近なGPSのしくみを探る」	平成27年11月14日(土)	講座室1	39人
子育てママパパ講座 「イライラなしのポジティブ子育て」	平成27年12月6日(日)	講座室1	13人
羽村の企業を知る 「富士フレイバー株式会社」 工場見学会	平成27年12月12日(土)	富士 フレイバー 株式会社 本社	32人
地域の自然素材での造形活動 「羽村の稲わらで鶴・亀を作ろう」	平成28年1月24日(日)	創作室1	13人
杏林大学文化講演会 後期「米国のシニア アクティブライフ」	平成28年2月6日(土)	講座室1	45人
サイエンスシアター 「科学ってなんだろう…？」	平成28年2月13日(土)	小ホール	56人
「実例満載！ 人が集まるチラシの作り方」	平成28年3月12日(土)	講座室1	67人
防災講座 「動くプレートと日本の地震」	平成28年3月26日(土)	レセプション ホール	46人

【第6表】情報発信部会関係事業

実施内容	発行月等	発行部数	規格等
ゆとろぎイベントガイド印刷版の発行	偶数月 15 日	全戸配布用 25,700 部 市外折り込み用 10,000 部 ゆとろぎ窓口用 1,300 部	A3判 表面フルカラー 裏面モノクロ
ゆとろぎイベントガイドWEB版の更新	イベントガイド発行時更新、 事業チラシ完成時等随時更新		http://www.hamura-tokyo.jp/simin/

(3) サポートグループの主な活動状況

平成27年度に実施した主な協働事業は、以下のとおりである。

【第7表】

区 分	活動内容
レセプション会の会	①ホール等でのレセプション活動 ・市民の会主催事業 11 事業 (延べ 44 人、55.5 時間) ・市主催事業 31 事業 (延べ 289 人、263.5 時間) ・一般主催事業 (共催事業含む) 24 事業 (延べ 152 人、114 時間)
保育さくらんぼ	①保育利用者 ・子育てママの読書たいむ 96 人 (※毎月第2水曜日に子育て中の親が図書館を利用する間、保育を受けられる事業) ・市主催事業 (講座等) 95 人 ・ゆとろぎ主催事業 10 人 ・サークル 65 人 ・一般 4 人
舞台操作	①ホール事業等での音響・照明等操作 ・市共催事業 4 事業 (延べ 8 人) ・その他事業 2 事業 (延べ 3 人) ②研修受講 ・2 回 (延べ 2 人、4 日)
植栽管理	①敷地内の植栽等の維持管理 ・31 回 (平均 3 時間) ②視察研修 ・1 回

4 総 括

市民の会及び所管課について監査を行った結果、市民の会における助成金の管理運用、会計経理及び関連する事務事業、また所管課における助成金に係る出納並びにその他の事務は、関係法令に基づき、おおむね適正に執行されていると認められた。

なお、事務処理上留意すべき軽微な事項については、参考意見を提示した。

また、監査における個別の意見等は、以下のとおりである。

○生涯学習の推進における協働事業の企画・運営等について

生涯学習センターゆとろぎは開館してから10年が経過し、市民の会・教育委員会の協働事業と、教育委員会の事業との棲み分けが明確な意図をもって実施されていること、また市民の会による協働事業の企画・運営等が市民ニーズを考慮しながら、創意工夫のもと、着実に実施されていることを確認できた。

事業を実施するうえで、事業収益による採算は当然考慮しなくてはならないが、ハードルを過度に上げ過ぎることによって従来の目的が達成されなくなることは本末転倒であり、市民の

会がこれらのバランスを保ちつつ活動していることは大変評価するところである。

今後も市民の会の活動が生涯学習の推進の一翼を担っていくことを期待するものである。

○簡潔に要約された、わかりやすい決算書類の作成について

市民の会の活動は、事業収益による採算と生涯学習の振興及び普及という目的とのバランスを保つため、特に支出の抑制に努めていることが確認でき、評価できるところである。

なお、決算書については、支出の抑制に努めていることがわかりづらい面があり、また特別会計の設置も不明瞭なため、市民誰もがわかりやすい書類となるよう努められたい。

○ボランティアによる運営について

市民の会の活動は有償・無償に関わらず、意欲的に従来の目的の達成のために邁進していることが確認でき、評価するところである。

しかし、近年、少数精鋭で運営されているとはいえ、会員が減少傾向にあり、事業がマンネリ化しつつあることが課題と捉えられている。その直接的な原因ではないが、ボランティアは有償のサポート組織と無償の各部会とに区分されているにも関わらず、会則等に明文化されておらず、根拠が不明確である。開館 10 年を機に、現状に即した会則となるよう、改正について一考され、市民の会の透明化を図り、会員の増強に一層努められることを期待するものである。